

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2003-172245 (P2003-172245A)

【公開日】平成 15 年 6 月 20 日 (2003.6.20)

【出願番号】特願 2001-402390 (P2001-402390)

【国際特許分類第 7 版】

F 0 3 D 3/06

F 0 3 D 3/02

F 0 3 D 3/04

F 0 3 D 7/06

F 0 3 D 9/00

F 0 3 D 11/02

【F I】

F 0 3 D 3/06 A

F 0 3 D 3/02 A

F 0 3 D 3/02 B

F 0 3 D 3/04 A

F 0 3 D 7/06 A

F 0 3 D 9/00 J

F 0 3 D 11/02

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 30 日 (2004.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直方体状のフレームの両側面の軸受けに羽根を軸支し、羽根軸の端部に凹または凸の噛み合い歯を設けた羽根ユニット。

【請求項 2】

複数の請求項 1 の羽根ユニットを連結して構成した集合風車。

【請求項 3】

縦長のフロートの後方に、フロートの長手方向を風上とするように請求項 2 の集合風車を搭載し、海底に設けた鎖またはポールに、上記フロートの前方を繫留した洋上風車。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

本発明によれば、直方体状のフレームの両側面の軸受けに羽根を軸支し、羽根軸の端部に凹または凸の噛み合い歯を設けたことを特徴とする羽根ユニットが提供される。前記羽根ユニットを左右上下等に連結して集合風車を構成してもよい。また、洋上の長手のフロートの後方に、フロートの長手方向を風上とするように上記集合風車を搭載し、海底に設

けた繫留具（鎖、ポール等）に、上記フロートの前方を繫留し、洋上風車を構成してもよい。